

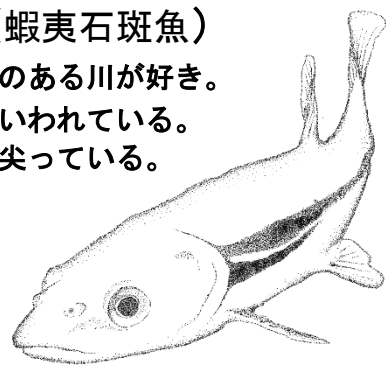
西岡 見聞録

エゾウグイ（蝦夷石斑魚）

冷たく流れのある川が好き。

10年ほど生きるといわれている。

成魚の雌は口先がちょっと尖っている。



2017（平成29）年

睦月 January

1月 No. 253

西岡水源池・冬の営み

冬の西岡公園、そこに広がる世界は静寂（せいじゃく）そのものです。

佇んでいると、天然の吸音材である雪によって雑音が消え、野鳥の鳴き声、落雪の音、雪に隠れて流れる水の音、西岡水源池周辺の本来の音が聞こえてきます。今回はその中でも、冬になかなか目にすることのない水の音に隠れた生きもののお話です。

西岡水源池周辺の水域には20種ほどの魚類・貝類・両生類が暮らしています。冬の水の中は、氷点下の外気にさらされる表層よりも底層の水温が比較的高いため、ウグイなどの中層～表層を好む魚も底層にすることが多いです。変温動物である彼ら魚類は、底層であまり動かず出来るだけエネルギーを消費しないように過ごし、水生昆虫などの底生動物や藻類などを食べて冬を越します。

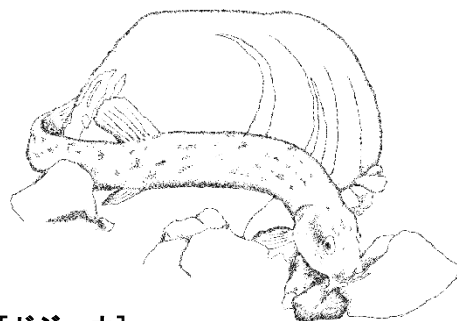
一般的に動植物にとって過酷な環境である冬こそ、なかなか興味深い過ごし方をするものです。西岡公園で特に面白い過ごし方をする生きものに「ドジョウ」がいます。

環境にもよりますが、土（泥）の中で冬眠するのです。水の冷たさや凍結から逃げるように彼らは潜みます。ドジョウはエラ呼吸以外にも、腸呼吸（口から空気を取り込み肛門から排出）や皮膚呼吸を身につけているため、湿り気がある場所で酸素があれば生きていられるようです。話によると、本州では水の抜けた水田の土中で越冬するドジョウもいるそうです。名前の由来に「泥生（ドロショウ）」「土長（ドチョウ）」などがあるのも納得ですね。

10年生きるといわれているドジョウ、西岡公園ではどのあたりで冬を過ごしているのでしょうか・・・

【ドブガイ】

砂の中に吸水口を伸ばし珪藻などを食べる。幼生はヨシノボリなどに寄生する。



【ドジョウ】

5対10本のヒゲが特徴。砂ごと餌を取り込み、エラから砂だけを排出できる。

このように、水の音の陰で冬の間も営みを続けている生きものは多くいます。彼らの声は私たちに聞こえないけれども、そんな声を内包している様子を静寂（しじま）と言うのかも知れないですね。

※ 注意 ※

西岡公園での鳥獣魚類の採集は禁止されています。今回紹介した生きものは西岡公園管理事務所の水槽で冬を過ごしていますので、是非ご覧になってみてください。



西岡水源池の今期の全面結氷日は・・・

今シーズンは **11月25日** でした！



なんと、昨シーズンと同じ日でした!!今シーズンは初雪も早く、11月上旬には40cmを超えるほどの積雪があったので、結氷日は早まるかな？と予測していたのですが…。さあ！皆さんの予測はいかがでしたか？

西岡公園の子ども調査隊ヤンマ団とさかな組の報告展始まります！！

今年も、報告展・報告会の日が近づいてきました。

子供たちには、正直あまり人気の無い活動です。でも、ヤンマ団・さかな組の活動の中で、とても重要な意味を持っているのが、この報告展・報告会の活動でもあります。

1シーズンの野外活動は、確かに楽しい活動にはちがいありません。子供たち自身が、自然と触れ合いながら、知識や感性を磨いていくこと、これも大切な目的のひとつです。そして、もうひとつ、西岡公園を中心に、生き物たちの姿にじっくりと目を向ける…これは情報収集の場になります。野外活動の最大の目的は、この情報収集にあるといえるのかもしれませんが。そして、報告展・報告会は、それらの情報を、ヤンマ団・さかな組から一般の皆さんへ、発信する場となるのです。

1シーズンの取り組みの成果を、それぞれの子なりに、まとめていきます。足りない情報は、ヤンマ団・魚組の過去のデータから拾ってみたり、専門誌、図鑑など、手持ちの本や管理事務所の蔵書などを利用して、各自の発表内容に、重ねていきます。子供たちは、こうした活動を通してながら、自分たちのデータの中に、自分でも意識しなかった大きな価値を見出したり、時には本に書いてあることが100%正しいとは限らないことを発見していく子もいます。

指導者の眼で見ても、ヤンマ団・さかな組の発表レベルはけっこう高いと自負しています。「小学生がここまでできるのか！」と思わせてくれる子も一人二人ではありません。

今年は、どんな報告があるでしょうか？多くの皆さんに、子供たちの発信する素敵な情報を受け取って頂ければ嬉しいです。

北海道トンボ研究会事務局長、ヤンマ団指導者 平塚 和弘



報告展は2月19日（日）から3月5日（日）まで円山動物園・動物科学館にて行われます。期間中は子どもたちによる展示紹介などもありますので、お近くにお立ち寄りになる際は、是非ご覧になって頂ければと思います。次回の見聞録ではプレーパークの活動についてお伝えする予定です。お楽しみに！！

～西岡公園で1月に見られる野鳥たち～

（日本野鳥の会 札幌支部 HP より 2016.1.3に確認した野鳥）

- | | | |
|----------|---------|---------|
| ・コゲラ | ・ハシブトガラ | ・ヒレンジャク |
| ・オオアカゲラ | ・ヤマガラ | ・ゴジュウカラ |
| ・アカゲラ | ・ヒガラ | ・ミソサザイ |
| ・カケス | ・シジュウガラ | ・ツグミ |
| ・ハシボソガラス | ・ヒヨドリ | ・スズメ |
| ・ハシブトガラス | ・エナガ | |

※破線の木道が通行止めになっています。
※東側の木道は積雪の為滑りやすく、また、木道下の水路が深く大変危険な状態になっています。冬期間通行止めにさせていただきますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

冬期間駐車スペースが限られます。
なるべく公共交通機関でお越しください。

管理事務所南側に冬期間臨時駐車スペースを設けています。

※木道に雪が積もると、滑って歩くに危険です。ご通行の際は足元に十分お気をつけください。

管理事務所ではスノーシューのレンタルを行っています。園内を散策する際は、ぜひ管理事務所にお立ち寄りください。

散策路からアカゲラをよく見かけます。

西岡公園管理事務所

開館時間 9:00～17:00
休館日 火曜日（4月～11月）
火・水曜日（12月～3月）
お問合せ 011-582-0050

挽きたてのコーヒー（1杯100円）
澄川の「菓子工房 fika.」のビスケット、
木工クラフト品などを販売しています。
西岡公園を紹介する展示を眺めながら、
ほっと一息つくのはいかがでしょうか？

